

「安中市環境基本計画 2026」に関する意見について

●意見の募集期間:令和7年12月22日(月)～令和8年1月22日(木)

●意見の受付件数:2人20件

(提出方法の区分:電子メール2人)

※意見等については、その趣旨を損なわない範囲で要約、補足等している場合があります。

| No | 頁 | 意見等 | 市の考え方 |
|----|------|--|---|
| 1 | P1 外 | <p>【温室効果ガス排出量実質ゼロ(カーボンニュートラル)について】</p> <p>注釈にもありますが、温室効果ガスはCO₂だけでなくCH₄(メタンガス)やN₂O(一酸化二窒素)なども含み、温暖化係数ではCO₂を1とした場合、CH₄は20、N₂Oは約300となります。</p> <p>特にN₂Oはオゾン層を破壊する物質である事、半減期が約120年と長い事から、近年ではCO₂以上に排出抑制が必要な物質と言われています。</p> <p>本基本計画は10年後を見据える計画である事から、</p> <p>① 温室効果ガス排出量実質ゼロ=カーボンニュートラルではない</p> <p>② CO₂以外の温室効果ガスについても対策が必要である</p> <p>という点についても触れるべきと考えます。</p> | <p>①一般に温室効果ガス排出量をその代表である二酸化炭素換算で表示しており、実質ゼロとは、温室効果ガス排出量と吸収量を差し引きゼロに均衡させることで、カーボンニュートラルと言われています。なお、温室効果ガスは人為的に排出されるガスを指します。</p> <p>②ご意見の通り温室効果ガスはCO₂だけでなく、メタンや一酸化窒素などのガスも含み、CO₂以外のガスの排出係数は特に高く課題です。現状では、温室効果ガス総排出量のうち、二酸化炭素排出量の割合は県全体で約94%(エネルギー起源CO₂は90%)を占めており、当面、CO₂排出量削減が喫緊の課題となっています。また、エネルギー対策は市民・事業者・市の共通の課題で、協働の取組方向が明確であるため、本計画ではエネルギー起源のCO₂排出量削減を主テーマとしています。なお、環境にやさしい農業の推進などと合わせて、CO₂以外のガスの削減も対策を進めていくことにしています。</p> |

| | | | |
|---|------|--|--|
| 2 | P1 外 | <p>【市独自の犬・猫殺処分「ゼロ」について】</p> <p>P4 では自然共生社会を掲げています。</p> <p>一方、p53 では、狂犬病予防注射接種率が、基準年の 2024 年度で 78.73%となっています。</p> <p>狂犬病はイヌだけでなく、ヒトを含めた全ての哺乳類に感染します。</p> <p>自然共生社会ではズーノーシス(人獣共通感染症)のリスクを市民も認識する必要があります。</p> <p>よって、市独自の目標を『犬・猫の殺処分「ゼロ』』とするよりも、『狂犬病予防注射接種率 100%』とした方が、自然共生社会における目標として相応しいと考えます。</p> | <p>ご意見を踏まえまして、基本目標3の指標にある「狂犬病予防注射接種率」を 100%に変更し、達成に向けて取り組んでまいります。</p> <p>『犬・猫の殺処分「ゼロ』』は「あんなか5つのゼロ宣言プラスわん」の目標であるほか、ペットを遺棄せず、最後までともに暮らしていける動物愛護の普及と自然共生社会の実現を目指しています。</p> |
| 3 | P4 外 | <p>【脱炭素社会について】</p> <p>注釈ではカーボンニュートラルが実現した社会とあります。</p> <p>脱炭素という言葉はメディアが先行して使い始めた言葉で、本来は正しい言葉ではありません。</p> <p>カーボンニュートラルとはすなわち、「脱」ではなく「循環」する事です。</p> <p>公が使う言葉としては、「炭素循環社会」と正しく使っていただきたいと思えます。</p> | <p>「脱炭素」という言葉は、国(環境省)では、令和2年(2020年)10月の「2050年カーボンニュートラル」宣言以降、それまでの「低炭素」から「脱炭素」に方針を変更しており、国の環境白書や計画において、気候変動問題に対処するため、「2050年カーボンニュートラル・脱炭素社会」の実現を目指しています。また「脱炭素ポータル」を立ち上げ推進を図るなど、公でも「脱炭素」を用いており、本計画でも、脱炭素社会を「カーボンニュートラルが実現した社会」と位置づけています。</p> <p>炭素循環とは、地球上の大気・水・陸地・海洋・生物の間で炭素が循環するプロセス全体を指し、この全ての循環を健全な状態にした社会が炭素循環社会といえます。その意味では炭素循環社会が基本です。産業革命以降の人間活動により排出が増加した温室効果ガスにより、この炭素循環のバランスが崩れた結果が今日の気候変動・地球温暖化問題として位置づけられており、この増加した分を如何に均衡させるかが当面の課題となっています。そのため、産業革命以降消費が増加し続けてきた化石燃料に頼り続けず、再生可能エネルギー活用(脱化石燃料)と吸収量(固定化を含む)の増加を図り、カーボンニュートラルの実現を目指す意味で、「脱炭素」をキーワードとして使用しています。</p> |

| | | | |
|---|-----|---|--|
| 4 | P12 | <p>【生物多様性の損失について】</p> <p>「土地の管理や農地の耕作放棄などの環境変化を受け、生物多様性の損失が懸念されています。」とありますが、土地の管理の具体的に何が生物多様性の損失に繋がるか、関係性が分かりません。農地の耕作放棄も同様です。</p> <p>太陽光パネルを敷き詰め、その下を雑草が生えない様にシートで覆えば生物多様性の損失に繋がるでしょう。</p> <p>逆に、耕作をせず、農薬を使わなければ、生物多様性は保たれるでしょう。もっと明確に関連性が分る様に記載すべきではないでしょうか。</p> | <p>耕作放棄地の場所や広がり、放棄前の利用状況によって、生物多様性に及ぼす影響は異なっています。</p> <p>農業は、自然との関りの中で食糧供給をはじめ、様々な環境保全や国土保全機能を果たすなど、多様な生態系サービスをもたらしてきました。そのため農業そのものも環境にやさしいものへと転換していかなければならないのは当然のことです。</p> <p>近年の耕作放棄地の増大は、周辺の自然環境や生活環境に影響をもたらす植物や生物の繁茂や生息、土砂災害の発生や不法投棄など、地域の生態系のバランスを攪乱する要因となっており、生態系サービスを持続的に享受することを困難にしています。</p> <p>今後の取組の実行に当たって、ご意見を踏まえ、個別に対応を図っていくものとします。</p> |
| 5 | P13 | <p>【花づくり・花いっぱい運動について】</p> <p>花づくり・花いっぱい運動では、生物多様性の観点から、遺伝子汚染が起こらない様な配慮が必要だと考えます。</p> | <p>今後の取組の実行に際して、ご意見を踏まえ、一層配慮していきます。</p> |
| 6 | P20 | <p>【自然環境について】</p> <p>植物、生物については妙義山周辺の記載しかありませんが、他の地域ではどうなのでしょう？生物多様性を進め、進捗をみていく為には、現状どうであるかが分かっている必要があると考えます。</p> <p>また、魚類、昆虫類についても触れる必要があると考えます。</p> | <p>現状では具体的に把握できないため、計画の推進と合わせて、調査を進めていくことを検討しています。</p> |

| | | | |
|---|-----|--|---|
| 7 | P21 | <p>【外来種対策について】</p> <p>碓氷川にはミズワタクチビルケイソウが侵入しており、生態系の破壊と景観の悪化が進んでいます。</p> <p>ミズワタクチビルケイソウは今現在では未だ特定外来生物に指定されていませんが、一度侵入を許せば排除はほぼできません。</p> <p>ミズワタクチビルケイソウの対策も急ぐべきと考えます。</p> | <p>ミズワタクチビルケイソウを含め、ナガエツルノゲイトウなどの侵略的植物の拡大など、一度侵入すると駆除が困難な外来種が増えてきています。そのため、早期発見と対策が求められています。また、侵入した生物の拡大防止対策が求められています。</p> <p>今後、特定外来生物対策や自然環境保全対策の一環として、広報やHP等での紹介と発見時の通報、拡大防止対策の啓発など、対策を進めていきます。</p> |
| 8 | P27 | <p>【環境教育について】</p> <p>環境教育の一環として、学校教育で環境系のシチズンサイエンス(市民科学)に参加してはいかがでしょうか。</p> <p>最近では、様々な大学や研究所が主催するシチズンサイエンスが多くあります。</p> | <p>一般市民による科学的活動(シチズンサイエンス)は、今後の持続的社会の構築にとって重要な視点であるといえます。そのため、環境教育・学習の展開の中で、学校や地域、関係機関とご意見を共有し、連携して進めて行きたいと考えています。</p> |
| 9 | P47 | <p>【エコスポットの利用促進について】</p> <p>エコスポット協賛店のほとんどを旧松井田市が占めており、地域による取り組みへの温度差が大きいと感じます。旧安中市の協賛店を増やす工夫が必要ではないでしょうか。</p> <p>エコスポットへ行っても調整中で使用できない場合があります。事前に稼働しているかどうかをネット上で確認できれば、利便性の向上に繋がると考えます。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。</p> |

| | | | |
|----|-----|--|---|
| 10 | P48 | <p>【ごみの分別について】</p> <p>P23 によれば、『市民1人1日あたりごみ排出量は、全国平均の 851g/人・日、県全体の 933g/人・日より多く、資源化率は全国の 19.54%、県平均の13.78%より下回っており、課題となっています。』となっています。</p> <p>当方は数ヶ月前に転入して来ましたが、安中市には庭の広い住宅が多く、庭木の剪定枝や雑草の排出量がとても多いと感じました。</p> <p>ごみ排出量は重量でみるため、全国や県での排出量の中でも多くなるのは仕方ない部分があると思います。</p> <p>剪定枝や雑草は乾燥させてから排出するように市は呼びかけていますが、それは現実的ではないと思います。</p> <p>例えば、家庭用のウッドチップの購入助成をし、チップを庭にマルチとして還元してもらうのはいかがでしょうか。あるいは、家庭用とはいえチップは場所も取りますし、音もそれなりに出ますから、公民館などに設置して、市民に利用してもらうのも良いと思います。</p> <p>近年では、公園の落ち葉は清掃して持ち出されてしまうため、生物多様性の観点から問題があるとも言われています。</p> <p>チップを庭に撒く事で、マルチングの効果も狙え、資源循環にも繋がるのではないのでしょうか。</p> <p>また、剪定枝をバイオ炭として活用している所もあります。ただ単に野焼きを禁止するのではなく、こういった取り組みがやりやすくなる様な工夫も必要だと考えます。</p> <p>安中市には安中市の事情があるのですから、安中市ならではのアイデアが必要だと思います。</p> | <p>ご意見のように、それぞれの家庭にあったさまざまな対応が考えられます。今後、ご意見を参考に対策を進めて行きたいと考えています。</p> |
|----|-----|--|---|

| | | | |
|----|-----|---|---|
| 11 | P49 | <p>【空き地・空き家対策について】</p> <p>空き家・空き地については、不在地主や権利関係の問題、地権者の金銭面の問題も多く、ただ管理をする様に言うだけでは解決しないケースが多いと思います。</p> <p>不在地主は住民でこそありませんが、固定資産税を納税する納税者であり、問題解決のための支援も必要だと考えます。</p> <p>なぜ管理が難しいのか、どういった支援が必要なのか、地権者側の悩みをヒアリングした事はあるでしょうか？</p> <p>核家族化・少子化が進み、一度も見た事も無い土地を相続しているケースも少なくありません。</p> <p>中山間地域の不動産は負動産となり、そういった土地を外国籍の人に売り渡す例が後を絶たず(相続した土地に愛着が無いため、誰でもいいから売ってしまいたい)、結局は地元がトラブルを抱えてしまうという事もある様です。</p> <p>全てを地権者の責任にして追い詰めるのではなく、サポートする体制も必要と考えます。</p> | <p>現在対策を進めていますが、関係部局との連携を一層強め、市として対策を進めていきます。</p> |
| 12 | P57 | <p>【畜産事業者の悪臭対策について】</p> <p>磯部駅周辺の悪臭が酷く、効果的な対策が必要と考えます。</p> <p>磯部駅は信越化学磯部工場への来訪者が数多く利用する駅で、磯部の悪いイメージが全国各地へ広がっている事を懸念しています。</p> <p>事業者が効果的な臭気対策を行える様、支援する必要があると考えます。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。</p> |

| | | | |
|----|------|---|---|
| 13 | P58 | <p>【食品の放射性物質検査について】</p> <p>福島第一原発発電所の事故からまもなく15年を経過し、Cs134(半減期約2年)はほぼ検出されなくなっています。</p> <p>また、生産管理が可能な一般食品が基準値を超過するリスクはほぼ無いと言え、記載内容をアップデートすべきと考えます。</p> <p>放射性物質で検査の必要性があるのは、生産管理が不可能な自然物、野生鳥獣肉、山菜類、きのこ類であるという事を明確にし、いたずらに市民の不安をあおる様な書きぶりは避けるべきと考えます。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。</p> |
| 14 | P58 | <p>【PFASについて】</p> <p>PFAS(有機フッ素化合物)についてもこの項目で触れるべきではないでしょうか。</p> | <p>有機フッ素化合物(PFAS)は、化審法などで国内で規制やリスク管理に関する取組が進められています。化審法に基づく対策は基本的には国の対策であり、PRTR制度は化学物質の環境への排出量・移動量は都道府県経由での届出が定められているため、本計画では有害化学物質等の環境汚染リスクの低減や有害物質等として含めています。</p> |
| 15 | P65～ | <p>【取組の方向について】</p> <p>計画全体にも言える事ですが、あれもこれも詰め込みすぎで、優先順位が分かりにくいと思います。</p> <p>環境施策は一部の人が頑張るものではなく、皆んなで取り組まなくては意味が無いと考えます。</p> <p>誰もが取り組みやすい計画とする為には、課題を俯瞰しつつも、優先順位を示す事が必要ではないでしょうか。</p> <p>また、誰でも取り組みやすいという点では、高齢者(低所得世帯)が多い事も考慮するべきと考えます。</p> <p>生活をする上で省エネをするならば、住居を改装したり、家電を買い替えるなどをして、エネルギー効率を上げる事が考えられます。しかし、これは資金に余裕がある人で無ければできません。</p> | <p>環境基本計画は市の環境政策に係る基本的な計画であり、環境問題はさまざまな分野にもまたがり、計画が対象とする環境の範囲や取組も拡大してきています。</p> <p>また、今後の取組の方向も含めると、個別の分野別計画でないため、ある程度網羅的にならざるを得ない点や、優先事項が分かり難い点があります。さらに、関連する分野の取組を進めることで、相乗効果が図れる取組も多々あります。</p> <p>このため、本計画では、優先事項として、基本目標と環境づくりの方向(施策の柱)を定めています。これを優先的に進めて行く方向として市民・事業者とも共有し、計画の進捗管理や個別分野別計画、事業計画の実施に際して、市民・事業者の意見等を踏まえ、具体的な取組を定めて実行していくこととなります。</p> <p>こうした展開を図っていくための基盤として「あんなか市民の環」を立ち上げ、活動をはじめています。また、環境学習や環境イベントなどを開催し、ご意見や提案をお願いしていますので、是非参加をお願いします。</p> |

| | | | |
|----|---|---|--|
| | | <p>低所得世帯であっても、こうした工夫ができますよといった例示が必要ではないかと思います。</p> <p>また、再生エネルギーの導入は「自然との共生」が大前提であり、生物多様性に悪影響を及ぼす様なメガソーラーは、今後規制されるでしょう。</p> <p>電力を大量消費する AI やデジタルと環境保全はトレードオフの関係であるという点を、行政も市民も先ず認識する事から始めた方が良いのではないのでしょうか。</p> | <p>また、市民にも分かりやすい計画の概要版の作成や、市民にも協力をお願いしたい事項などを整理し、広報や市 HP など発信していくことを予定しています。</p> |
| 16 | — | <p>【パブリックコメントについて】</p> <p>様式が Microsoft Word で作成されており、パブリックコメントの為に iPad にアプリケーションを入れ、サブスクにより料金を支払う必要がありました。</p> <p>また、Apple 社と Microsoft 社の互換性が悪いため、出来ない操作もあります。</p> <p>国のパブリックコメントは入力フォームにテキストを打ち込むだけとなっており、特別なアプリケーションは必要ありません。</p> <p>パブリックコメントは意見の提出しやすさがキモだと思いますので、実施方法について再検討いただければ幸いです。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。</p> |
| 17 | — | <p>【中宿にある工場について】</p> <p>工場は活動しなくなっても、あの外観が亡くなってしまうのは、非常に残念です。是非、文化遺産として残して欲しいと思います。足尾銅山跡の様に、トロッコ等で回りながらどんなことをしていたか等、観光地になればよいと思います。</p> <p>以前、東京からの友達が安中駅に降り立った時に工場の廃墟と勘違いし、感動して写真を撮っていて、なかなか出てこないことがありました。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。中宿にある工場については、今回の意見募集の内容と異なるため回答はいたしかねますが、参考にさせていただきます。</p> |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 18 | — | <p>【街灯について】 街灯は各地区に任されているようですが、出来たら統一されているのが望ましいと思います。簡単にはいきませんが、安中城址・侍マラソンで売っていくとするなら、それらしい感じで統一していく。</p> | ご意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。 |
| 19 | — | <p>【新島学園から第二グラウンドへの道の整備について】 新島学園の第二グラウンドへ行く道は信越線を超えてすぐに南の山に向かって曲がっていくのですが、道が狭く、両側にガードレールもなく、非常に危ない状態です。その道をまっすぐ上って行けば、富岡に向かう近道にもなりますが、狭くて整備されてないので、軽自動車しか通れません。この道を整備すれば、便利になるとともに、美しい里山になると思います。 新島学園のグラウンドでは、沢山の学校が来て、練習試合等も多いので、駐車場も沢山必要です。道の整備と、持ち主の居ない国の者の様な荒地を整備して、駐車場を増やし、美しい里山の整備をすれば、沼もあり、シラサギやカモが来て、素敵な場所になると思います。是非、整備をしていただきたい。</p> | ご意見ありがとうございます。道の整備については、今回の意見募集の内容と異なるため回答はいたしかねますが、参考にさせていただきます。 |
| 20 | — | <p>【シルバー人材の活用】 市内の道の周りの草や枝を常にきれいにして、美しい町のイメージを保つ。 出来たら四季折々の花の咲く素敵な道路に</p> | ご意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。 |